

人間文化研究機構の連携研究「アジアにおける自然と文化の重層的関係の歴史的解明」が平成22年度からはじまった。この研究に参画した研究者仲間との情報交換と、研究の進展を相互に共有するための連絡誌「人と自然」を発刊することとした。各号には特集と連載を組み、自然と文化との多様な関わりを自由かつ大胆に論じることをねらいとした。創刊号の特集は「火」、2号は「音」、3号は「虫」、4号は「天」、5号は「色」、6号は「花」である。引き続き、皆さま方から本誌への御意見、コメントをお願いしたい。

研究代表：阿部 健一（総合地球環境学研究所）

目次
CONTENTS

特集 香をめぐる人と自然

感覚を刺激する香の魅力

2

においは人の「環境感覚」

野村雅一

8

かおりの生態学

高林純示

12

香りの俳句的風景

坪内稔典

16

香、絶対的価値

畑 正高

20

「香」のことば

木部暢子

24

【コラム】森の人になる

阿部健一

連載

26

都市の中の自然と文化⑦◎時の香り—時代を感じさせる庭

エマニュエル・マレス

フィールド報告

28

海外◎日本が朝鮮に送った象の話

魯 成煥

30

国内◎世界農業遺産「トキと共生する佐渡の里山」と 生物多様性佐渡戦略の推進

—トキと人との共生から環境保全・文化の継承へ

渡辺竜五